

第1章 段階的な目標の設定

本計画は、浸水対策の優先度の高い箇所に対して、ハード・ソフトの両面から段階的に整備を実施することで、早期に治水安全度の向上を図ります。

1.1 計画期間

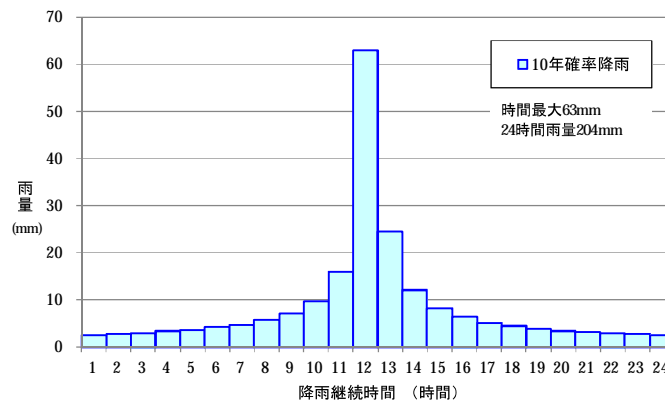
本計画の計画期間は、基本計画で示す通り概ね30年とし、10年間毎に短期・中期・長期に分け、各期間で実施する具体的な整備内容を設定します。

1.2 整備目標

基本計画に示されている10年確率降雨に対する著しい浸水被害（住宅の床上浸水被害）の解消に向けて、河川施設整備、下水道施設整備、流出抑制施設整備を実施することにより段階的に治水安全度の向上を図ります。

また、将来的な都市化の進展への対応や近年頻発しているゲリラ豪雨に対して着実に浸水被害を軽減するために、並行してソフト対策を推進します。

2.1.1 目標雨量の時間分布図



2.1.2 段階的な整備イメージ

